

ICTとイノベーションで価値に挑む

アートグループ

代表取締役

光川

幹夫氏



今年のキーワードに、「進化したICT(情報通信技術)とイノベーションで、価値に挑む」を掲げる。「今後、情報・通信に関する技術で、さまざまなイノベーションが起こる。新しい動きに、どう取り組んでいくかがひとつの課題」と語る。

持株会社アートホールディングス、SI(システムインテグレーション)、RFID(ICタグ)、ソフトウェア設計・開発、人材派遣などの事業を展開。さらに、AI(人工知能)、BI(ビッグデータ)を分析して、業務や経営の意思決定に活用するなどの事業化を進めている。

昨年、IoT事業としてプラットフォーム製品「おくだけボード」を開発。「工場の進行管理や機械メンテナンス管理など、顧客の要望に多様に対応できる。すでに数社への導入が決定している」。また、今後は国際的なIoTネットワーク(sigfox)への対応も進めている。新事業としては、ソーシャルメディアなどを使ったデジタルマーケティング事業の開発を推進。さらに、低

コスト開発体制の確立を目指し、継続的なりモーター・エンハンス開発やニアシヨア事業も拡大する。「3年後にグループ売上高80億円を目指すなかで、25〜30億を新事業で構成できるようにしたい」と意気込む。

「新しいテクノロジーが予想以上に早く進展するなか、行きつくところはやはり人」と、働き方改革に着手。U・イーターの起用や自立型人事制度の検討など、雇用環境を整備する。再来年創業30周年を迎えるにあたり、新たに福利厚生棟も建設する予定。「今は、人で事業をつくる時代」と人の重要性を力強く語った。

アートグループ

鯖江市上河端町6-1-33